

【日時】2013年8月10日～13日

【メンバー】L木下 佐貫 田村 矢野

沢と沢を繋ぐ奥利根湖右岸半周の沢旅、全長 26km のロングランを完走できて充実した山行になりました。久しぶりに天候に恵まれたお盆休み、奥利根の溪と大自然を満喫した4日間であった。



8/10 曇一時小雨

奥利根マリン・高柳さんの船で入山。割沢付近より流木が詰まり侵入困難！流木をかき分け、手漕ぎでボートを進めてくれ小穂口沢出合へ、「高柳さん、ありがとう！」

小穂口沢本流は

河原と所々淵が現れるが容易、しかし水がしびれるほどに冷たく多量の残雪の予感。二俣手前より「黒いゴルジュ」となる。ここで竿を出してみると尺が釣れた！丸々と太った岩魚でありがたく山の幸をいただく。

本沢の魚止の滝を見送り南沢のゴルジュへ入って行く。淵と滝が続くがフリクションが利き快適に通過、ブリッジを一つくぐると荒れた河原になり左岸に幕営適地、今日はここまで。

◆初日を終えて…

・冷たい水とどんよりした空、なんじゃこりゃ？でも今回は念願の矢木沢ダム半周ルート、ちょっとやさっとじゃ敗退はしないぜ！4年振りの小穂口沢で釣れた岩魚は、人間なら173cm78kgというところでしょうか。【佐貫】



・船でいきなり奥利根のど真ん中にアプローチ。心の準備が整わずあたふたする私を、美しい水と森がやさしく迎えてくれたーそんな印象でした。【田村】

・奥利根の沢は初めてだったが周囲からは良い話ばかり聞いており、あったのは期待だけ。小穂口沢に到着し、送ってもらった高柳さんのボートが湖岸を離れると、「ああこれで別世界に入ったのだ」と強く感じる。木下さんが釣り上げた尺岩魚、胃袋には

虫がぎちぎちに詰まっており、いつ消化しているのだろうかと疑問でした。【矢野】



### 8/11 曇のち晴

朝靄の中、出発。すぐに大釜の7m滝、右からロープを出して直登。ブリッジが現れ乗ったり潜ったり・・・と雪溪の先に熊だ！カメラをこちらに向けている佐貫さんの後ろから近づいてくる、黒々艶々した奴だ。ブリッジの下にもかかわらず大声だしてホイッスルを鳴らしてしまう、すると熊が気づいた

のだろう、ゆっくりと尾根へと上がって行った。奥利根の住人との御面会シーンでありました。

やがて溪は残雪に覆い尽くされ大雪溪になった、500m以上はあろうか。この大雪溪のおかげで深いゴルジュの通過が容易にできた。雪溪の末端は大滝、右沢大滝・3段110mは中段から半分は雪溪の下、目指す左俣大滝60mはすべて雪溪に覆われていた。右岸より雪溪と泥壁の間に弱点を見つけて左俣大滝落口に降りた。ナメ滝を越すと2段30m滝。右手に崩れそうなブロックを見ながら巻き気味に登る。ゴルジュが深くなりルンゼ状支流が連瀑を懸けて右岸から入る。本流はブロックが散乱している中を縫って滝に登る。



左折する7m滝を左岸の支流から巻いて越すと穏やかな流れとなり、牧歌的な雰囲気が変わる。ゴーロを詰めて、しばし根曲がりの藪を漕ぐとニッコウキスゲ揺れる草原となり、気持ちよく小沢岳南尾根に出た。大休止、辺りを遠望すると小穂口本谷の大滝がよく見えその上流部は大雪溪、小沢本流はほぼ雪溪に覆われている、今年の残雪は半端じゃない。楽な雪溪下りができそうな四番手沢下降を思い浮かべるが、中流部はズタズタになっているかもしてない。予定通り南尾根をP1664まで進んでから、五番手沢に下るルートを取る。P1664までは浅い灌木ヤブであったが標高を下げると「蔓」が出てきて難渋する。P1664より五番手沢

に下降すると、標高 1400m 付近に湿原があり、ここが水源になっている。しばらくすると白い花崗岩の滝が現れ、美しい滝が続く。次第に落差も出てきて、懸垂も交えて下降していく。



短い沢なので容易かと思いきや、一筋縄ではいかない。ゴルジュも深くなりブリッジが懸かる、おおよそ潜って通過、圧迫感のある下降であった。

標高 1000m 付近より河原となり、ここで幕。10 時間超の充実した 1 日でした。



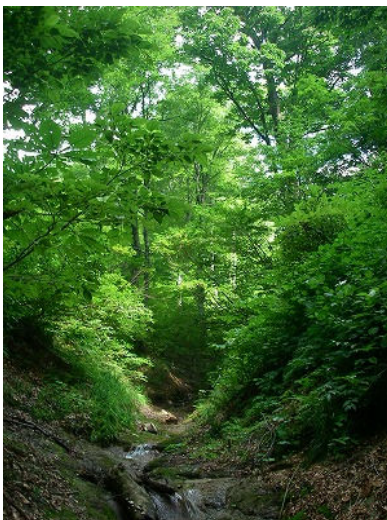
#### ◆2 日目を終えて…

・雪溪のお蔭でスムーズに南沢終了。高クラ近くから眺めた奥利根は、やっぱり私のカムイミンタラ。でも五番手沢でくぐった雪溪は沢人生で 1、2 を争うぐらい今にも崩壊しそうで、変な汗がタラリ。何とも濃い一日でした。【佐貫】

・雪溪は本当にうれしかった！怖い思いが最小限で済みました。稜線からの景色、奥深い山々の真っ只中にいられることの何と幸せなことか。【田村】

・雪溪に助けられたので感謝だが、贅沢を言えばもう少し水を楽しみたかった。

なお、ずっと続く雪溪が、奥利根でスキーをしたいと感じさせ、稜線に詰め上げて周囲を見渡せば、その思いは一層強くなりました。【矢野】



8/12 晴

すぐに小沢本流出合となる。雪溪で覆われており、中に入ると上流には魚止の滝、瀑音が響いている。朝一番から 200m ほど雪溪を潜り、しばらく行くと三番手沢出合、ここも雪溪で覆われていた。

これから下流はブナ森の中のゆったりした流れとなり、奈良沢川本流へ。コツナギ沢へは柄沢山北東尾根の末端部の沢を使って乗越す。小さい沢であったが小滝とナメが美しくブナ森を満喫しつつコツナギ沢に出た。

コツナギ沢は 2 年前の水害で荒れた広河原になってしまい残念だ。今日は半ドン、のんびりと登ってシバ

沢の出合で幕。流木豊富な砂地の素晴らしい幕場、早くから焚火を熾して優雅な午後を過ごした。

◆3日目を終えて…

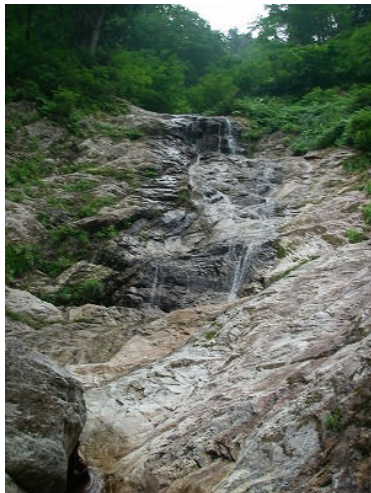
- ・奈良沢からコツナギ沢への小さな尾根越。この沢が意外にきれいでうれしい誤算。コツナギ沢はすさまじいゴーロで暑かった。虫刺されで顔の変形がこれまた凄まじく、鏡がなくてヨカッタ。【佐貫】
- ・朝から雪溪くぐりの恐ろしかったこと！



山越えルートは思いがけず楽しい拾い物でした。南下に従って、山全体の厳しさがだんだんやわらいできたような気がします。沢ごとの岩の色の違いも興味深いですね。【田村】

- ・のんびり下ってのんびり登る。休肝日のようなもので長い山行には欠かせない。山には入りたいが、入れば早く下りたくて急いでしまうこの性分、少し見直してみようかと思った一日。コツナギ沢にはチビ岩魚が沢山。みなでかい奴になってほしい。【矢野】

8/13 晴



シバ沢は貧弱な出合だが、しばらくするとナメ状滝が懸かり快適な沢になる。スラブ状 30m 滝が現れ左手から直登、上部はロープを出す。滝上も滝が続き楽しい溪相だ。再び大滝・40m が現れ、右手からロープを出して直登する。

沢は傾斜が緩み、二俣。刃物ヶ崎山へ直接出ようと左俣へ入る。慎重に読図してシャクナゲの藪を漕いで行くとほぼピークに出た。刃物ヶ崎山のピークは三角点とプレートが

あり奥利根のよき展望台だ。遠く小沢岳方面を望むと今回トレースしてきた溪や尾根が見える、はるばるやってきたのだ。そして最終章に入る。

左手はすっぱりと切れた岩峻になっているので右手のジロウジ沢三ノ沢左俣から下降する。右手の尾根を下降しガレマークのある沢へ下降する。順調に下ると突然、空間が開けスラブ状の大滝が現れる。懸垂 40m では足りず途中でピッチを切る、2P 目は一部空中懸垂になった。美しい 50m



大滝であった。



ここからはナメ状の滝や大釜などが現れる。ジロウジ沢は水の色も美しい沢でフリクションもよく利き楽しく下降できる。3時間半ほどで矢木沢本流に到着。今日中の下山が可能になったので朝食の「うどん」を作って食べる、実にうまい！

水量豊かな矢木沢本流を下るが大きな山抜けで荒れた沢になってしまっている、魚止の滝には大きな倒木詰まっていた。ここは右岸

から高巻いたが、やや不明瞭。所々でてくるナメ滝や釜、美しい水の色を楽しみながら下る。河原が続き植林の杉が見えてくる・・・もうすぐフィナーレだ、堰堤が見え、林道に上がる。矢木沢ダムへの車道と合流し、矢木沢橋を渡り車に到着した。

メンバーと固い握手かわして、素晴らしい4日間の終了となった。

#### ◆最終日…

- ・隠れ名溪のシバ沢から3度目の刃物へ。ジロウジ沢の50m ナメ滝にはビックリ、矢木沢川本流下部の大崩壊地に言葉もなし。どこまでも明るい沢、大きなブナの森、

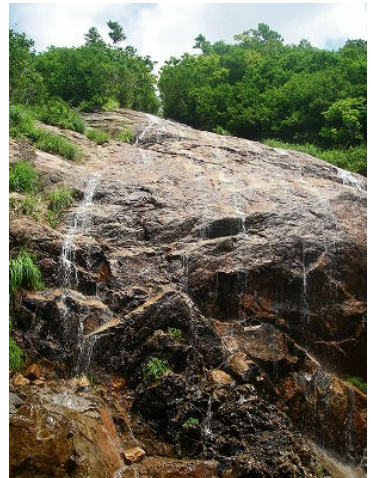


奥利根の闊達さ美しさよ、いつまでも。今のトマで

はメジャー沢の斜め上を行くつなげもの（逆下降）に興味を持つ人はほとんどいないし、こんな山行を出来るとは思っていなかった。同行のお三方には心より感謝したい。【佐貫】

・高度感にビビってしまったたり、登攀時の動作にもたつきやミスが出て、個人的には情けなさを感じる一日でした。とはいえ、完遂できたことは本当に満足です。充実した4日間でした。【田村】

・シバ沢は滝が続き、刃物の先端に一気に登り詰める。これまでの道程、見事な最後、その計画の美しさに感服です。【矢野】



【行程】

- 8/10 小穂口沢バックウォーター（7：35）－長倉沢（8：20）－オクサビ沢（9：00）  
－ブナ沢（9：30）－オクブナ沢（10：15）－小穂口沢二俣（11：00-25）－南沢  
標高 1100m 付近 C1（12：35）
- 8/11 C1（5：45）－南沢右俣出合（7：35）－左俣奥の二俣（8：40）小沢岳南尾根  
1860m 付近（10：50-11：20）－P1664（12：30）－五番手沢湿原（12：00）－五  
番手沢標高 1000m 付近 C2（16：05）
- 8/12 C2（6：40）－小沢本流（6：50）－三番手沢（7：05）－奈良沢川本流（8：30）  
－柄沢山北東尾根 1090m（9：45）－コツナギ沢（10：20）－シバ沢出合 C3（12：  
40）
- 8/12 C3（5：23）－シバ沢二俣（7：55）－刃物ヶ崎山（9：30-10：00）－ジロウジ  
沢二俣（10：50）－矢木沢本流（13：15-14：00）－メーグリ沢（14：40）－矢  
木沢堰堤（15：30）－矢木沢橋/車ダボ（16：00）

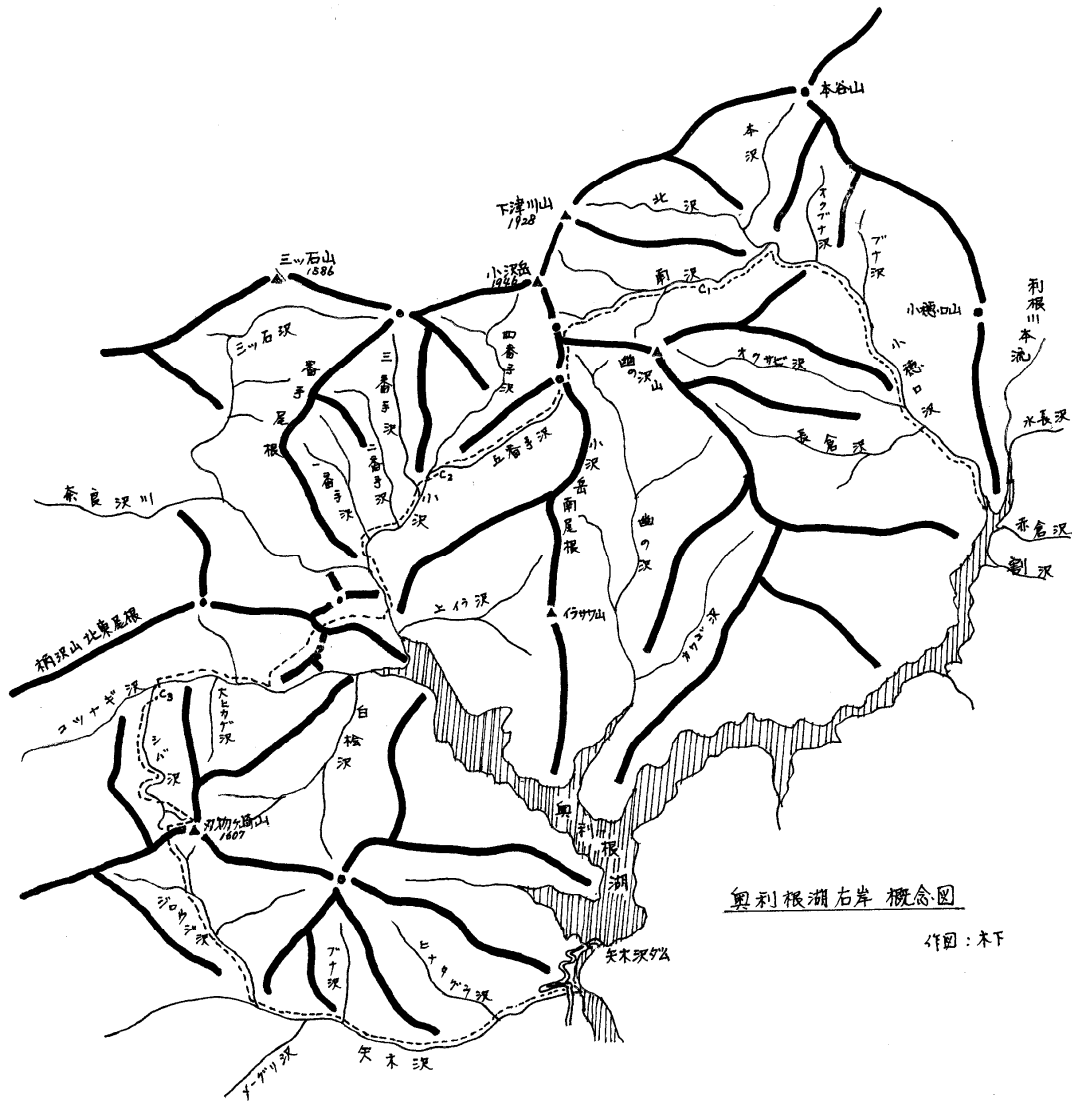
【地図】 奥利根湖 巻機山 藤原 茂倉岳



<小穂口沢南沢右俣大滝>

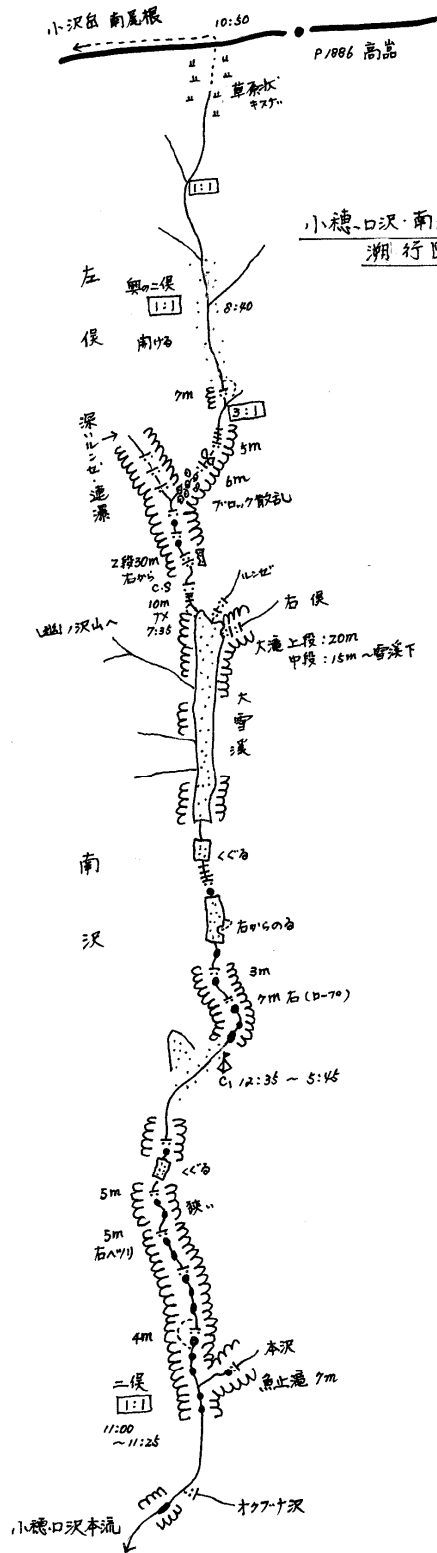


<小沢岳南尾根を行く>

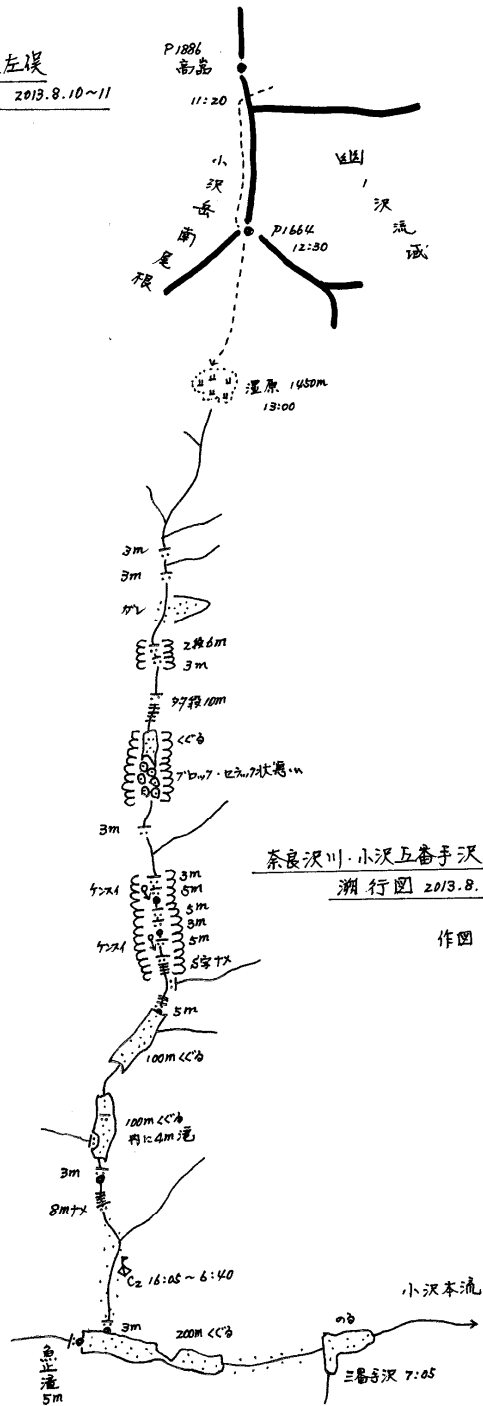


奥利根湖右岸 概念図

作図：木下



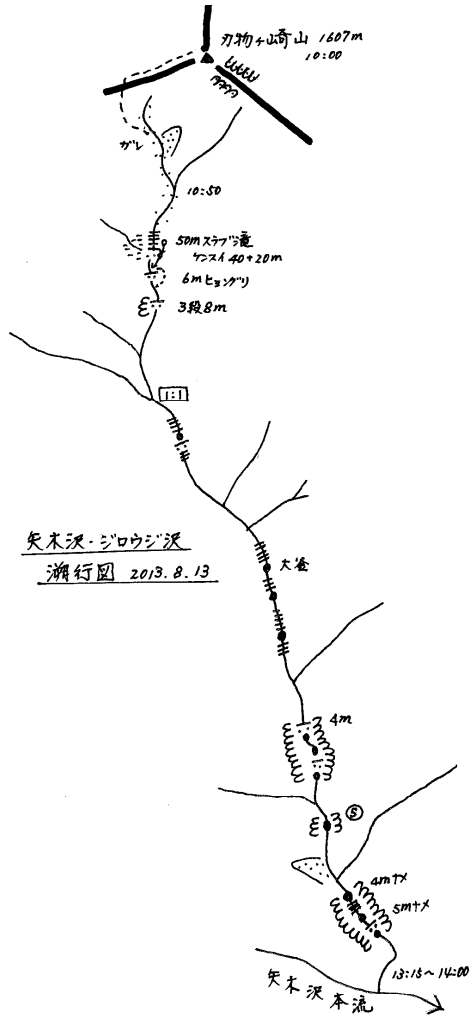
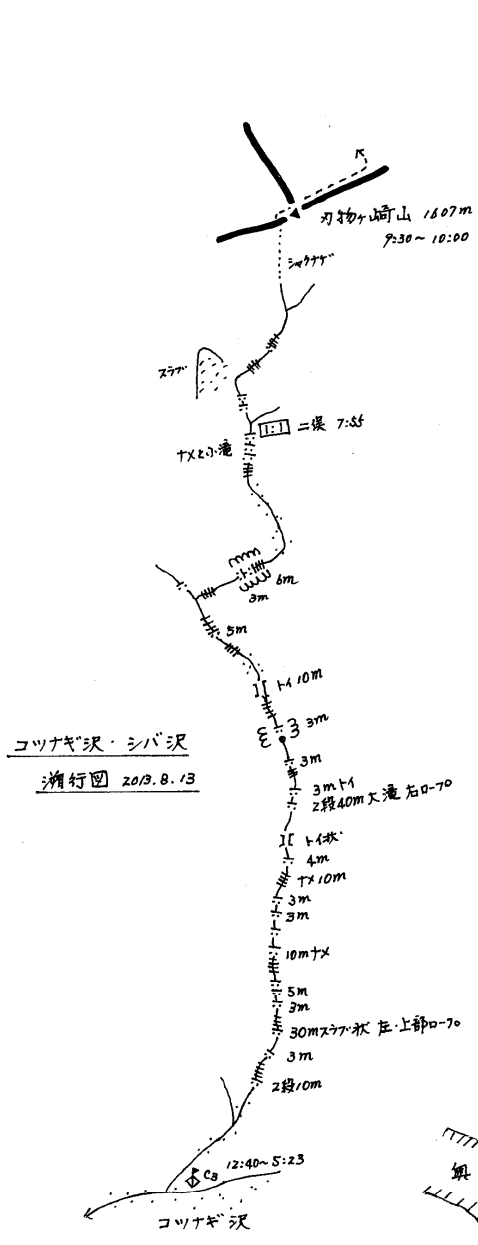
小穂・口沢・南沢左保  
溯行図 2013.8.10~11



奈良沢川・小沢五番手沢  
溯行図 2013.8.11~12

作図: 木下





矢木沢-シロウジ沢  
溯行図 2013.8.13

柄沢山北東尾根末端部  
2013.8.13  
作図: 木下

